

七月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九三二
浄土真宗 西福寺
本願寺派
TEL 072-622-3725 FAX 072-622-3725

当たり前の日常が失われて、世界は一変して見えます。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成三十年七月のご案内を申し上げます。

第二百七十二回

人生講座

日時 七月 八日(日) 昼二時〜四時
講師 本願寺派布教使

福間 玄猷 師



大迫半端 無いつて

■福間(ふくま)先生、四十六歳。広島県三次(みよし)市、源光寺住職。二十二年前、縁あって当山より入寺しました。平成二十三年に継職法要が厳修され、源光寺様の法灯を継承されました。お話が分かりやすく聞きやすいと好評です。■夏の日差しが容赦なく降りそそぐ昼下がり。冷房の効いた本堂でイスに腰かけ、仏さまのお話を聞いてみませんか？

●大阪北部地震(最大震度6弱) 6月18日午前7時58分発生

6月20日朝9時現在、大阪府内に大雨警報発令中です。皆さまのお宅では、如何でしたでしょうか?今後もしばらくは、余震や降雨による被害の拡大が予想されます。もし何かご要望、ご相談がありましたら、遠慮なくご連絡ください。当山では、仏具の転倒や食器類の破損などありましたが、大きな被害はありませんでした。家族も全員無事です。ラインも復旧しております。

▼6月19日開催予定の仏教婦人会総会は、28日(木)午前11時からの開催に変更されました。昼食ご用意いたします。総会終了後引き続き、ぶっぶカフェ開店。

☎お問い合わせ先:西福寺(TEL 072-622-3725)

お盆のお参りは、お早めじ。

南無阿弥陀仏をとなれば観音・勢至はもろとも恒沙塵数の菩薩とかげのごとくに身にそえり

「先祖方を偲びつつ、「お陰さま」と感謝の気持ちで、お迎えください。」
「家族お揃いでお参りしていただきたく、なるべくご希望に添えるようにいたしますが、お時間の指定までは遠慮下さい。当日の天候や道路事情によりお約束の時間より前後する場合があります。」
また、初盆をお迎えになる方を優先させていただいています。何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

電話:072-622-3725



毎月28日、昼2時OPEN!ぶっぶカフェ!

石川欣也先生の「法話のダイヤル」は、平成30年5月で終了しました。30年に及ぶご教導、有難うございました。

“法話のダイヤル”第1081話

お別れのことば

はい、ありがとうございます。いよいよ、お別れの「法話のダイヤル」です。ふとした近所のご婦人との立ち話から、昭和63年5月21日、親鸞聖人降誕会の佳き日に産声をあげたこの「法話のダイヤル」に、とうとうマイクを置く日がやってまいりました。「ようこそ、このダイヤルをお返しくできました」という第一声が流れてから満30年のつたない、法話とも言えないような話を1081回もお聞きくださった皆様に、ただ「ありがとう」のひとことです。

それにしても、据え置き型の黒いダイヤル式電話機が、時の流れとともにケータイからスマホに移り、かく申す私自身も目がかすみ、声がかすれる晩年になっては如何ともしがたく、とうとうこの日がやってまいりました。「終わりよければすべてよし」という謗もありますから、今回は心をこめて最後のお話です。

さて私たちの親鸞聖人は眞実のみ教を広く天下に知らしめたいと、83歳から88歳までの晩年に35冊ものお書物を著したり、書き写したりしていらっしやるのです。冷暖房の設備もなく、照明も不十分だった住まいで、しかも細い筆をとってのご苦勞ですから頭が下がります。

その聖人のお弟子へのお手紙の最後に、「この身は、いまは、年きわまりて候えば、さだめて先立ちて往生し候わんずれば、浄土にて、かならずかならず待ちまいらせ候べし」とお書きですが、いま「法話のダイヤル」に終止符を打つ私も、この聖人のお気持ちそのものの心境です。「いのちは法の宝」と申しますから、あなたさまもただ一度の人生をお念仏さまとともに、ナンマンダブ、ナンマンダブと、強く明るく生き抜いてくださるよう念ずるばかりです。

長らくのおつきあい、長らくのお育て、ほんとうにありがとうございました。いつかまた再び、かならず、かならず、お浄土でお会いしましょうね。

八月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九三三
 浄土真宗 西福寺
 本願寺派
 TEL 075-2335545 FAX 075-2335791

自他一如、怨親平等の絶対の真実は、南無阿弥陀仏という名となつて、衆生にみずから知らしめていくと良き人の仰せです。皆様には如何お過ごしでしょうか。
 平成三十年八月のご案内を申し上げます。

う ら ぼん え

盂蘭盆会

日時 八月十五日(水) 夜七時〜九時
 講師 当院住職自動



■「お盆は、『盂蘭盆経』の説話による行事です。わが子への愛ゆえに餓鬼道(がきどう)に堕ちた母。その母の境涯を知り、苦悩する目連尊者(もくれんそんじや)。じゅんじゅんと救済の法を説かれるお釈迦さま(菅純和著『仏事の小箱』)。親の恩に思いをいたし、どうぞご家族皆さままでお参り下さい。
 「この世界の片隅に(2016年・日本)」上映予定。

●お盆のお参りについて

「正信念仏偈」と下記の「四句念仏・回向」そして「ご文章」をお勤めいたします。どうぞ、有縁の方々と一緒に参り下さい。
 「正信念仏偈」は、「十二礼(じゅうにらい)」の節でお勤めいたします。「行譜」・「草譜」でのお勤めの際は「善導独明佛正意」で調声人が独唱いたしますが、この場合は、そのまま続けてともに唱和いたします。なお、人生講座はお休みです。

西福寺歓喜会(かんぎえ)

平素より宗門ならびに当山西福寺の護持発展のため、格別のご配慮を賜わり有難く厚く御礼申し上げます。

さて、下記の通り8月13日、「歓喜会」をお勤めいたします。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、当日各世帯代表者1名のご参拝をお願い申し上げます。今後ともご理解ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

記

- 一、日時 8月13日(月) 午後6時〜
 - 二、会所 西福寺本堂
 - 三、持物 聖典・念珠・式章ご持参ください。
- ※西福寺上野門徒のみ。

毎月28日、昼2時OPEN!ふたがわF.I.

念佛 律曲 平調

南无阿彌陀佛 南无觀世音菩薩
 南无木訥聖菩薩 南无清淨大海衆菩薩

衆菩薩

回向 律曲 黄鐘調

願以此功德 平等施一切
 同發菩提心 往生安樂國

浄土真宗本願寺派 たすけあい運動募金

◆「平成30年7月豪雨」災害義援金のご願い

2018(平成30)年7月に西日本を中心に降り続いた記録的な大雨により各地で被害が確認されました。

宗派においては、一日も早い復興を願ひ、緊急に「たすけあい運動募金」において標記災害義援金を募ることとし、受付を開始いたしました。

つきましては、募金にご協力いただきますよう、下記の通りお願い申し上げます。

記

- 1. 募金の名称
 浄土真宗本願寺派たすけあい運動募金
 「平成30年7月豪雨」災害義援金
- 2. 受付口座番号
 郵便振替 010000469957
 加入者名 たすけあい募金
- ※通信欄に「平成30年7月豪雨」とご記入ください。
- 3. 受付期間
 2018(平成30)年7月11日(土) から当分の間
- 4. 問い合わせ先
 〒600-8501
 京都市下京区堀川通花屋町下ル
 本願寺門前町
 浄土真宗本願寺派伝道本部
 社会部(災害対策担当)
 TEL 075-371-5181
 FAX 075-365-6199

九月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九三二
浄土真宗 西福寺
TEL 0726-2355 FAX 0726-2357

被害を免れた田んぼでは、稲穂が実り収穫の時期を迎えようとしています。
皆様には如何お過ごしでしょうか。
平成三十年九月のご案内を申し上げます。

第二百七十三回

人生講座

日時 九月 九日(日) 昼二時〜四時
講師 本願寺派布教使

藤本文隆師



■藤本(ふじもと)先生、四十一歳。奈良県生駒市、西教寺衆徒。京都・西本願寺門前にある伝道院で布教使の指導、育成に携わっておられます。人と人とのあい、心と心のあい、別れの中にあるであいい。であいの持つ意味について、深く思いを巡らせ、お話し下さいます。

●龍谷ミュージアム秋季特別展(9月22日(土)〜11月25日(日))

(月曜日休館(祝日の場合は翌日)) 午前10時〜午後5時
※最終入館受付は午後4時30分まで

水木しげるの漫画展

秋季特別展



日本漫画界の鬼才・水木しげる氏は、その生涯を現役で在り続けました。鳥取県境港で幼少期を過ごした彼は、正福寺所蔵の「地獄極楽絵図」に心を奪われ、以来、不思議な世界に魅入られるようになります。そして太平洋戦争中には、激戦地・ラバウルで片腕を失い、生と死の境をさまよう壮絶な体験をします。

本展は、水木しげる氏が93年間の生涯をかけ、魂を込めて描き続けた作品に焦点をあて、生原稿・原画のほか、少年期に描いた貴重なスケッチなど、未公開作品を含む約300点を紹介します。

彼岸会コンサート

清風宝樹をふくときは
いつつの音声いだしつ
宮商和して自然なり
清浄勲を礼すべし

西福寺仏教婦人会9月の例会は、彼岸会(ひがねえ)コンサートです。フルートの芦田正子さん、ヴァイオリンの外園美穂さん、ピアノの内尾恵美さんをお迎えします。
芦田さんは、実力もさることながら人柄も素晴らしい演奏家です。

当会員の方に限らず、どなたでもお参りいただけます。運営協力金として千円、ご負担ください。「佛説阿弥陀經」のお勤め後、ご鑑賞いただきます。

日時：9月20日(木) 午後2時〜3時半
場所：西福寺本堂

毎月28日、昼2時OPEN! ふるカフル!

浄土和讃に聞く ⑧

◆慈光はるかにかぶらしめ
ひかりのいたるところには
法喜をうとぞのべたまふ
大安慰を帰命せよ

『浄土和讃』(註釈版558頁)

夕方うす暗くなって「誰そ、彼は」と人の顔が見分けにくくなった時分を「黄昏時」と言います(広辞苑)。日中、まぶしいほどに明るかった太陽も西に傾くにつれて赤みを増し、やがて輝きを失っていきます。それまで鮮やかに見えていたものも次第に色あせ、漆黒の闇に溶け込んでしまいます。時の経つのも忘れて遊んでいた子どもは、急に心細くなります。来た道を知らず帰る道も分からず途方に暮れていた時、こちらに近づいてくる人影に気づきます。たまたま「誰?」と尋ねると「お母さんよ」と名乗る声。子どもは、不安から解放され、喜びのあまり思わず忘れます「お母さん!」。

「大安慰は弥陀のみ名なり。一切衆生のよろずの嘆き憂え、悪きことをみな失うて安く安からしむ(国宝本)」と親鸞聖人は註釈されました。わが子を慈しむ親のように、阿弥陀仏は一切衆生の親たらんと願われ、慈しんでください。そのはたらきは「南無阿弥陀仏」の名乗りとなつて、闇を闇とも思わずいたずらに生をむさぼる私たちに向けて喚び続けておられるのでした。『大経』本願成就文に「その名号を聞きて、信心歡喜せんこと乃至一念せん」とあるように、私のところに阿弥陀仏の名号が至り届いた今、もはや戸惑うことがないという、大いなる安らぎの心から一声ほどでもお念仏を申し、応えてまいりましょう。

▼阿弥陀仏の慈しみの光はひろくあらゆるものを照らし、その光の至り届くところでは、すべてのものが喜びの心を得るといわれている。大いなる安らぎと慰めを与える大安慰に帰命するがよい。

西福寺ホームページはこちら▶
<http://runbini.com/saifukuji/>



十月のご案内

〒567-0012
 茨木市東太田二丁目九三二
 浄土真宗 本願寺派 西福寺
 TEL 072-622-3725 FAX 072-622-3725

一雨ごとに秋が深まってゆきます。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成三十年十月のご案内を申し上げます。

報恩講法要厳修

ほう おん こう ほう よう こん しゅう

日時 十月十三日(土) 昼二時・夜七時
 十四日(日) 朝十時

講師 行信教校講師・本願寺派布教使

藤澤信照師

■報恩講は、宗祖親鸞聖人のご苦勞をしのび、そのご苦勞を通じて、阿弥陀如来のお救いをいただくことをあらためて心に深く味わわせていただく法要です。私たちにとってもっとも大切なご法縁といえます。(本願寺ホームページより)
 ■お誘い合わせの上、ご参拝下さい。

●報恩講の準備にご協力下さい

* * *

毎回、世話役の方々が中心となって準備して下さいますが、どなたでもお手伝いいただけます。お手すきの門信徒の皆さま、ご協力のほどよろしくお願い致します。

10月9日(火) 午後7時〜於西福寺本堂 おみがき(仏具を磨きます)
 10月12日(金) 午後7時〜於西福寺本堂 おかざり(供物をそなえます)

*詳細は住職までお尋ね下さい。TEL 072-622-3725

親鸞聖人を偲ぶ報恩講

10月13日(土) 夜7時からの初夜法要では、「奉讀大師作法(ほうさんだいしきほう)」が勤められます。「るんびに太鼓」のメンバーによる雅楽演奏の中、諸僧入堂。正信偈のお勤め後、諸僧は立ち上がり念仏と共に散華、色とりどりの花が舞います。回向句がとなえられ、諸僧退出。法要は終わります。お勤めの後「親鸞聖人物語」のビデオ鑑賞。10センチ足らずのかわいらしい紙粘土人形が生き生きと親鸞聖人のご生涯を描き出します。引き続き、藤澤先生の心温まるご法話を聴聞いたしましたしよ。



毎月28日、昼2時OPEN! ふろかぶり。



西福寺ホームページはこちら▶
<http://runbini.com/saifukuji/>

念仏奉仕団募集

ほんざん うつく 本山を美しく。

本山での清掃奉仕を通して、愛山護法の念を深める機会として、本年も「茨木東組念仏奉仕団」を募集いたします。門信徒の皆さまのご参加をお待ちしております。



日時：12月10日(月)〜11日(火) 1泊2日
 費用：16,000円

(帰敬式ご希望の方は26,000円)

締切：10月31日(水)

集合：安穩殿(旧称参拝会館) 2階・12時50分

宿泊場所：京都東急ホテル

(京都市下京区堀川通五条下ル)

※お申し込み・お問い合わせは西福寺まで。

(電話 072-622-3725)

【持ち物】

聖典・念珠・門徒式章・健康保険証・雑巾1枚・筆記具・雨具・洗面具等・清掃奉仕できる服装(エプロン・軍手・作業服等)



早い! きれい! エコ! 寺報メール便のお申し込みはこちらまで saifukuji@runbini.com

十一月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九三二
 浄土真宗 本願寺派 西福寺
 TEL 075-2325-5151 FAX 075-2325-5150

澄んだ夜空には、月が煌々と輝いています。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成三十年十一月のご案内を申し上げます。

◎人生講座はお休みです。各寺院の報恩講にお参り下さい。

- 称名寺(総持寺) 10月20日 14時 / 21日 10時
 - 安楽寺(太田) 10月27日 13時半 / 28日 13時半
 - 本照寺(富田) 11月1日 14時 / 2日 14時
 - 光明寺(総持寺) 11月9日 14時・19時
 - 万徳寺(氷室) 11月10日 14時・19時
 - 常見寺(五百住) 11月10日 10時・13時半
 - 称念寺(高田) 11月17日 13時半 / 18日 13時半
 - 常称寺(総持寺) 11月23日 14時 / 24日 14時
 - 顕証寺(八尾) 11月26日 / 27日 / 28日
- *万徳寺様では10日夜、御伝鈔(宗祖生涯の行蹟が記述された詞書)が拝読されます。

●大谷本廟祖壇納骨について

祖壇(そだん)は、宗祖親鸞聖人のご影並びにご遺骨が納められている場所です。1660(万治3)年に本願寺第13代宗主良如上人によって、今日の場所に造られました。祖壇の左右には歴代宗主並びにお裏方の墓所があり、祖壇前には拝堂である「明著堂(めいちどう)」があります。

祖壇には、親鸞聖人のご遺徳を慕い、聖人のお側にありたいとの願いから、年間1万5千件もの納骨が行われ、全国の門信徒の方のご遺骨が納められるとともに、宗祖親鸞聖人の墓所を今に受け継ぐ本願寺発祥の基として多くの方のお参りがあります。

なお、納骨は合葬となりますため、後日のお骨の返却はできませんので「留意ください」。

*大谷本廟：京都市東山区五条橋東6・514。TEL 075・531・4171(代)

報恩講

法要期間
 11月11日(日) 14時
 11月16日(金) 14時

先般、当山報恩講では多数ご参拝いただき誠に有難うございました。堂内では、毎座お同行の皆さまの唱える正信偈の声に満ち、ご講師の藤澤先生からは、力強くも温かいご法話をお聞かせいただき、法味あふれる2日間となりました。

大阪本町、本願寺津村別院でも11月11日より報恩講が勤められます。日中法要は朝10時から、速夜法要は昼1時半からです。15日速夜、16日日中は、前様御導師による法要とご法話となります。

なお、13日速夜までは藤島秀天師(富山)、14日からは佐々木義英師(滋賀)による報恩講法話が行われます。

御堂筋の銀杏色づくこの季節、有縁の皆さま、どうぞご参拝ください。

毎月28日、昼2時OPEN!ふろかぶり。



西福寺ホームページはこちら▶
<http://runbini.com/saifukuji/>

浄土和讃に聞く ⑨

◆無明の闇を破するゆゑ
 智慧光仏となづけたり
 一切諸仏三乗衆
 ともに嘆誉したまへり

『浄土和讃』(註釈版558頁)

今、手元に「闇の中に光あり」(樹心社)という本があります。この本の著者、大石法夫先生は、先の大戦で人間魚雷回天の搭乗員でした。大型の魚雷に直接、人が乗り込み敵艦めがけて突っ込んでいく。ひとたび出撃したら、生きては帰れない特攻兵器です。幸い出撃直前に終戦となり、一命を取り留められました。暗く狭い回天の操縦席にたった一人で乗り込み、確実に死ぬための訓練を繰り返す毎日は、お国のためとは言え、絶望以外の何者でも無かったことでしょう。出撃をした者は、戦果を上げたか否かに関わらず、皆、戦死しました。どうして自分たちだけが生き残ったのか、自らに問いつづけた半生であったはず。その苦しい煩悶の中、大石先生は、阿弥陀仏の本願に出遇われました。深い海の底にいるかのような絶望を感じていたところに、阿弥陀仏からの智慧の光が届いたので。すでに届いていた光にようやく気づいたと言った方が正しいかもしれません。

奇しくも、同じく回天部隊に所属し、生き残った方がご門徒におられました。先生は戦友のよしみから、生前、何度となくその方のご自宅に立ち寄られ、聞法会を開いておられたそうです。私は、別のご門徒の方からそのことを伺い、先生の著書に出遇うことができました。もし時間を遡ることができればのならば、ご自宅で営まれていた聞法会で、先生のお話しを伺ってみたくったです。

▼阿弥陀仏の光は無明の闇をすべて破るから、智慧光仏と申し上げる。すべての仏も菩薩も縁覚も声聞も、みなともにほめたたえておられる。

十二月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九三二
浄土真宗 西福寺
TEL 075-375-3511 FAX 075-375-3511

地震、豪雨、猛暑、台風と災害続きの厳しい一年でした。このまま、穏やかに暮れてゆくことを願うばかりです。皆様には如何お過ごしでしょうか。

平成三十年十二月のご案内を申し上げます。

第二百七十四回

人生講座

日時 十二月 九日(日) 昼二時〜四時
講師 本願寺派布教使

高島 幸博 師



■高島(たかしま)先生、三十七歳。茨木市沢良宜浜、専念寺衆徒。一般家庭に生まれ育ち、龍谷大学仏教学科入学が縁となって、大学卒業後就職するも、30才の時に得度し僧籍を取得。翌年、専念寺へ入寺。明るくまじめな人柄が、次期住職としてご門徒のみならず宗門の期待を集めています。
■お誘いあわせの上、こぞってお参り下さい。

●本山成人式の案内

新成人の皆さん、おめでとございます。
本願寺では、1月13日(日)に皆さんが新成人となられたご縁として、親鸞聖人のみ教えに出遭っていただきたいとの願いのもと、「本山成人式」を開催いたします。

●日 時…2019年1月13日(日)

●会 場…本願寺御影堂(京都市下京区堀川通花屋町下ル)

●参加対象…1998年4月2日から1999年4月1日までの間に生まれた新成人の方

●参加費…無料(※帰敬式受式希望者は冥加金3,000円が必要です)

●応募方法…所定の申込用紙に必要事項を明記の上、寺院活動支援部(組織教化担当)内「本山成人式」係までお申し込みください。(電話 075-375-1518・FAX 075-351-1211)

●募集締切…2018年12月20日(木)

年末年始のお参りについて

誠に勝手ながら左記の通り、年末年始は、お速夜参りをお休みいたします。

この期間内に月命日を迎えられる方は、12月30日までの都合の良い日をご連絡いただければ、お伺いいたします。もしくは、来年1月1日(日)より勤まる元旦会にご参拝下さい。何卒、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

年内：12月30日(日)まで
新年：1月5日(土)から

*葬儀など緊急の際は、ご遠慮なく
まずお寺までご連絡下さい。

TEL 072-622-3725

毎月28日、昼2時OPEN! ふろかぶり。



西福寺ホームページはこちら▶
<http://runbini.com/salfukuji/>

浄土和讃に聞く ⑩

◆光明てらしてたえざれば
不断光仏となづけたり
聞光力のゆゑなれば
心不断にて往生す

『浄土和讃』(註釈版558頁)

仙台市若林区にある浪分神社は、海岸から直線約5.5キロ、海拔約5メートルに位置する。複数の歴史書などによると、建立は1702年とされ、慶長三陸津波(1611年)では、この周辺で津波が二手に分かれて引いていったと伝わる。津波は1835年にも地域を襲ったという。津波の浸水域との境目に建てた当時の人々の願いもむなし、2011年3月11日、東日本大震災が発生します。津波は、仙台東部道路にせき止められる格好で、神社の手前約2キロで止まった。(2011年4月10日河北新報より)

災害列島とでも呼ぶべきこの国には、災害の記憶を後世に伝えていくための記念碑が各地に建てられています。しかし、その多くが忘れ去られ、時に移設され、壊されてしまうことさえあります。先人からの教訓は確かに届けられているのに、聞くことしなない私たちの姿があります。悲劇は繰り返されました。

親鸞聖人は、聞光力という言葉を一聞というは聞くという。この法を聞いて、信じて常に絶えぬ心なり(国宝本)と註釈されました。悲しいかな、人の心からの叫びも時とともに届かなくなりました。阿弥陀仏の救いの光は、はるか昔から遠い未来にいたるまで、一瞬たりとも途切れることなく照らし続けているのです。この光のはたらきを聞かせていただくのは、何も文字や言葉だけではありません。山川草木、あるいは人の営みの中にも確かに聞くことができます。

▼阿弥陀仏の光は絶えることなく照らし続けるので、不断光仏と申しあげる。その光のはたらきを聞く信心もまた絶えることなく、往生することができます。